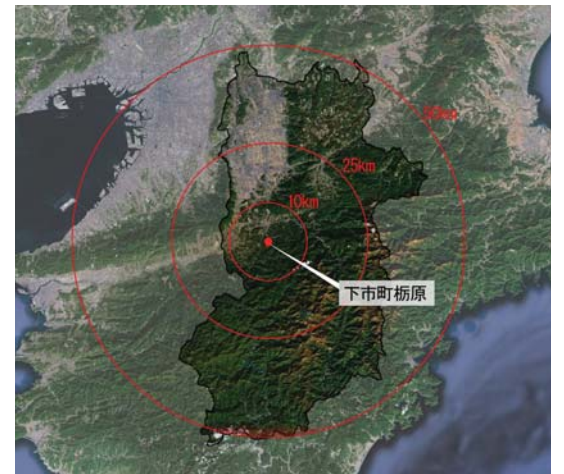


＼高齢者の営農を支える／

らくらく農法

寺岡プロジェクト
 奈良女子大学
 奈良県農業総合センター
 三晃精機株式会社
 国立奈良高専

実験フィールド 下市町 栢原

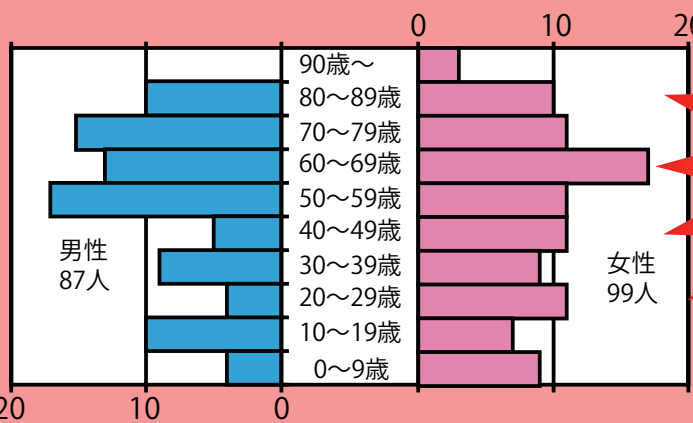


霊峰栢原岳のふもとに広がる
 奈良県有数の広大な柿畑。
 集落戸数83 柿100ha
 古くから開けた
 中山間農村地帯である。

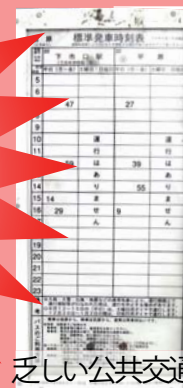
しかし……

高齢化に伴い営農が困難に！

栢原地区男女別年齢別人口



10年後には
 担い手激減
 コミュニティ
 崩壊へ？！



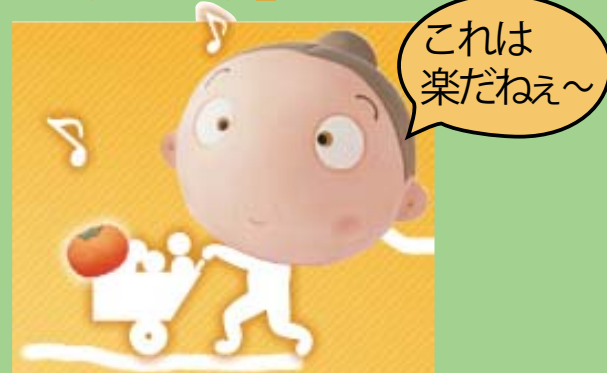
乏しい公共交通



全体の8割は20度を超える狭隘な傾斜畑

そこで、

「よっこらしょ」から「らくらく」へ



「らくらく農法」を開発する！

「楽しく、楽に」を実現する、4つの研究・開発グループ

集落点検法グループ
 リーダー 寺岡伸悟(奈女大 学(人社))

PPKグループ
 リーダー 藤原素子(奈女大 学(自))

らくらく電動運搬車グループ
 リーダー 笹岡元信(三晃精機株式会社(産))

らくらく栽培グループ
 リーダー 濱崎貞弘(奈良農総セ 学(自))

主な取り組みと成果



電動運搬車現地運用試験



からだ点検・らくらく体操

らくらく農法で生涯現役

江芦時代から新産地は柿の生産地として栄え、**新産地**という品種があるくらいです。特に、私たちの中でも渋柿の葉を中心に柿の葉巻の原材料に使う柿の葉だけの生産をしております。栽培については**新産地**を厳守し、4月に1回のみ散布に止めて他の散布は一切せず、色、つやを整えて**安心して**お客さまに使用できる柿の葉の生産に努めております。

新産地柿の葉

私達が丹精込めて生産しております。

農事組合法人設立



○白書、雑誌などに掲載される。
○日本社会学会・政治社会学会で発表。

●課題
地域への成果の普及
地域・行政との更なる連携と
事業効果の波及方法検討

☆今後の取り組み
第3回シンポジウム開催
会場：下市町交流センター
(ごんたくんの家)
日時：2月2日(日) 18:00~

集落点検G



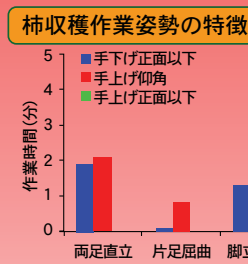
13/9/3 新産地の交流会



島根県中山間地域研究センターでの意見交換

- 成果
女性グループ・直売所へのグループインタビュー
「新産地の交流会」の実施（ムラ点検の応用）
- 課題
集落点検法の応用についての検討
他出者へのアプローチの検討
- ☆今後の取り組み
営農継続の難しい農地をもつ
農家への聞き取り

PPK-G



- 成果
柿の収穫作業姿勢の分析、作業負荷計測
地区住民のための体操の考案
- 課題
分析結果のフィードバック
体操の完成と普及
- ☆今後の取り組み
作業負荷についての詳細な分析
体操作成

体操のコンセプト

- To Tension & Release
使った部位はほくほくしましょう。
- Chi Circulation
呼吸を大切に。息を吐きましょう。
- Ha Heed to tail
からだのつながりを感じましょう。
- Ra Round
まるく、やわらかく動いてみましょう。

グループ間連携

電動運搬車G+らくらく栽培G



電動運搬車の試運転

PPK-G+らくらく栽培G



アイカメラによる農作業調査

らくらく電動運搬車G



試作第4号機（クローラ型）



前後退可能な電動一輪車

- 成果
クローラ型/一輪車の試作・無線操縦を実現
現地での運搬・走行試験実施
- 課題
車体安定性の更なる改善と製造コストの低減
- ☆今後の取り組み
ゴムクローラーの大型化による車体安定

らくらく栽培G



展示園場設置

- 成果
柿葉らくらく展示園場の設置
アグリビジネス創出フェア出展
- 課題
加工品等の要望への対応
- ☆今後の取り組み
柿葉生産マニュアル作成・加工品開発
農事組合法人の活動支援



アグリビジネス創出フェア



柿葉料理

将来は下市町・奈良県へ政策提言。情報発信と成果の波及を目指す。

